

平成30年度 事業報告

1. 公益目的事業の推進

本財団の事業は、広島原爆被爆の記憶を原点として、世界平和都市広島としての責任と義務を果たすべく、国際平和の実現とより密接な国際交流を図り、平和の啓発活動を推進するため、下記の事業を実施した。

(1) 第30回 谷本清平和賞

この賞は、本財団の発起人であり日本キリスト教団広島流川教会の牧師であった谷本清氏が、被爆後世界平和のために活躍された功績を継承し、さらに世界が平和であることを願って、毎年平和のために貢献した人(含む団体)を表彰する。

第30回の谷本清平和賞は、“核と人類は共存できない”と訴えてきた父森瀧市郎先生の遺志を引き継ぎ、核被害者に寄り添って反戦反核に取り組み、また核戦争危機にあったインド・パキスタンへの平和行脚を起点にウラン兵器禁止活動を先導し、さらにノーベル平和賞を受賞したICANとて連携して、核兵器禁止条約成立に貢献された『森瀧春子』氏に決定し、2018年11月11日谷本清平和賞を授与した。

(2) 第29回 世界平和弁論大会

世界平和に対する関心を高め、平和の意識を高揚し啓発することを目的として、在広留学生による第29回日本語による「世界平和弁論大会」を開催した。11カ国から15名が発表した。

- 第1位 ナヴァルチーコヴァー ペトラ (スロバキア出身・山陽女学園高等部)
- 第2位 ナビラ ヤスミン ポハン (インドネシア出身・広島県瀬戸内高校)
- 第3位 ミシェル エレナ ポレオ ルイズ (ベネズエラ出身・広島女学院高校)
- 第4位 ブンラックサー シャイディー (タイ出身・広島国際学院高校)
- マクシモヴァ エリカ (エストニア出身・山陽女学園高等部)
- シャー クシャリ (ドイツ出身・広島女学院高校)
- レーガン スー (ニュージーランド出身・安芸府中高校)
- フレメル アニカ (アメリカ出身・山陽女学園高等部)
- 彭 敬堃(ホウ ケイコン) (中国出身・広島工業大学)
- リサ マリ ゼヘンバウワ (ドイツ出身・武田高校)
- マクハノア アイダ (カザフスタン出身・山陽女学園高等部)
- イリス ハリカイネン (フィンランド出身・三次高校)
- ロビン イングランド (ドイツ出身・広島大学附属高校)
- スクポル パナポーン (タイ出身・広島女学院高校)
- 許 媛(キョ エン) (中国出身・広島工業大学)

(3) その他の事業

該当なし